

児童相談所全国共通ダイヤル「189（いちはやく）」 ～あなたの1本の電話で救われる子どもがいます～

「189（いちはやく）」は、虐待かも？と思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談できる全国共通の電話番号です。通告・相談は匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。虐待を受けたと思われる子どもを見つけた方、出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、町のこども課（こども家庭センター）・児童相談所へお気軽にご相談ください。



まだまだ幼く、伝える手段を知らない子どもは、泣いたりぐずったりすることを繰り返し、周りの大人に助けられながら少しずつ成長していきます。それは子育てに悩む大人も同じ。不安や悩みを抱えたまま育児をしていると、気がつかないうちに子どもを傷つける言動をとってしまうことがあります。辛いときには「**周りに頼る**」という一歩を踏み出すことが大切です。育児に関することやご家庭における心配ごと、困っていることがあれば、町の「**こども家庭センター（☎029-240-7129）**」になんでもご相談ください。様々な関係機関と連携を取りながら、解決策を見つけるための支援を行っています。

また、同じ地域に暮らすみんなで子どもを育てていくという意識を持つことが重要です。児童虐待を見つけたら、まず通報することで、子どもの安全確保が最優先されます。「もしかしたら…」をそのままにして抱え込んだり、見て見ぬふりをしたりせず、勇気をもって通報することが必要です。

子育てとは、一人の人間と向き合い続けること。大切な命を健やかに育むために、社会全体で協力できる環境をつくっていきましょう。

子育ての悩みに寄り添います

茨城町こども課 こども家庭センター

☎ 029-240-7129（直通）

妊娠期から子育て期にわたり、様々な相談を随時受け付けています。詳しくはお問い合わせください。

こども家庭庁 啓発ホームページ

しつけ？体罰？
これってどっち？



親子のための
相談 LINE



子どもを健やかに育むために ～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てにおいて、しつけと称して叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼす恐れがあります。

次のポイントを心がけながら、子どもに向き合いきましょう。

- 1) 子育てに体罰や暴言を使わない
- 2) 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
- 3) 爆発寸前のイライラをクールダウン
- 4) 親自身がSOSを出そう
- 5) 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援



「愛の鞭」を捨てて
子どものことを
見つめよう！

しつけで心がけたいこと

- ◇上手にできたらほめる：小さな子どもには、スキンシップをとることが大切です。
- ◇問題解決のヒントを与える：「今度からこうしてみたら？」とヒントを与えましょう。
- ◇できるまで待つ：子どもの状況を理解して、待つ必要もあります。
- ◇失敗は成長へのステップ：失敗する行動も前向きにとらえましょう。
- ◇暴力は絶対にダメ：暴力を振るうと、体罰はエスカレートしてしまいます。
- ◇傷つける言葉を使わない：「ダメな子」「あんた嫌い」などの言葉で、子どもの心は深く傷つきます。
- ◇他の子と比較しない：他の子と比べられることは、子どものやる気を奪います。
- ◇過去のことを蒸し返さない：過去の失敗を持ち出すと、子どもの自尊心を傷つけます。
- ◇ガラガラと叱らない：叱る時は短くきっぱりと。同じ事を繰り返すのは逆効果です。
- ◇曖昧な態度をとらない：日頃からまっすぐに子どもと向き合しましょう。



社会全体でも見守りの目を！

気づいてください 親と子の「SOSのサイン」 身の回りの子どもや保護者の、こんなサインを見落としていませんか？

Check!



子どもについて

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- 不自然な傷や打撲の跡がある
- 衣類や身体がいつも汚れている
- 表情が乏しく、活気がない
- 夜遅くまで一人で遊んでいる

保護者について

- ご近所などと交流がなく、孤立している
- 小さい子どもを家に置いたまま外出している
- 子どもの養育に関して威圧的で乱暴、拒否的、無関心である
- 子どものケガについて不自然な説明をする



上記に思い当たることがあれば、それは**虐待のサイン**かもしれません。